

< 計画推進部会 >

**平成31年度 宮崎市子ども・子育て支援プラン推進施策  
点検・評価表**

**基本理念**

安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちづくり

**1 子どもの健やかな育ちを守ります**

- (1) 子どもの健康の保持と増進 (P1)
- (2) 子どもの最善の利益の確保 (P3)
- (3) 障がい児などの特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実 (P5)
- (4) 安全安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備 (P7)

**2 子育てを通して親としての成長を支えます**

- (1) 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援 (P9)
- (2) 地域における子育て支援の推進 (P11)

**3 子育てと仕事が両立できる環境をつくります**

- (1) ワーク・ライフ・バランスの推進 (P13)
- (2) ひとり親家庭の自立支援 (P15)

**4 教育・保育や子育て支援の質の向上に取り組みます**

- (1) 教育・保育内容の質の向上 (P17)
- (2) 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進 (P19)

## 推進施策1 - (1) : 子どもの健康の保持と増進

基本的な考え方	子どもの健康の保持と増進を図るため施策の充実に取り組むとともに、病気や障がいなどで支援が必要な乳幼児の保護者に対して正しい知識の啓発や、福祉・保健・医療などの関係機関との連携による支援しやすい環境づくりに努める。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 乳幼児医療費無料化の継続	すべての子どもが早期に必要な医療を受けることができるよう、未就学児の医療費の無料化を継続し、子どもの健康の維持を図る。	乳幼児医療費助成事業
(2) 乳幼児などに対する感染症対策の充実	感染症の発生・重症化予防及びまん延を防止するため、定期・任意予防接種の充実に努める。また、地域の医療機関と連携を図り、感染症の発生状況や予防接種に関し、情報の共有を図る。	乳幼児等定期予防接種事業、他
(3) 乳幼児などの健康管理の推進	乳幼児などが心身ともに健やかに成長していくため、地域の医療機関などと連携し、健康診査や保健指導などを実施し、健康の保持増進を支援する。	幼児集団健康診査事業（1歳6か月児健康診査事業）、他
(4) 思春期保健対策の充実	思春期における子どもたち一人一人が自らの心と体を大切にすることができるよう、学校・関係機関などとの連携のもと、正しい知識の普及を進めるとともに、相談体制の強化を図るよう努める。	思春期健康教育推進事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績							目標
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①乳幼児医療費レセプト1件当たりの県補助単価	1,373円	1,354円	1,351円	1,331円	1,303円	1,375円	1,341円	1,350円
②予防接種率（麻しん・風しん混合ワクチン）（1歳）	100.7%	96.9%	97.7%	106.2%	100.1%	95.4%	97.0%	100.0%
③予防接種率（麻しん・風しん混合ワクチン）（5-6歳※） ※小学校に入学する前の1年間で接種する児童	98.0%	91.1%	94.4%	95.5%	94.5%	96.8%	93.7%	100.0%
④予防接種率（BCG）（1歳未満）	90.3%	99.9%	99.4%	98.7%	103.4%	97.2%	99.7%	100.0%
⑤3歳6か月児 健康診査受診率	94.6%	97.7%	95.3%	98.2%	97.4%	97.5%	96.9%	97.0%
⑥むし歯のない3歳児の割合	79.9%	80.8%	82.4%	83.5%	84.6%	87.3%	90.1%	84.0%
⑦仕上げ磨きをする親の割合（3歳6か月児健診）	96.4%	95.4%	96.5%	95.9%	96.5%	96.7%	97.7%	100.0%

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策1－(1)：子どもの健康の保持と増進

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】                      A (4人)                      B (5人)                      C (0人)                      D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】                      A (5人)                      B (3人)                      C (1人)                      D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 3歳半健診でのフッ化物塗布等の予防の取組みは良いと思います。また、就学後も学校で歯の磨き方指導、フッ化物洗口などをしていただいております。子どもたち自身も虫歯に気をつけようとしています。</p> <p>A 虫歯のない3歳児の割合が非常に高い一方で、新型コロナウイルスの影響もあるのか、小学校では虫歯の治療率が4割程度に留まっているところもある。年齢が上がるにつれてむし歯に対する意識が薄れてくる状況に対して、何かつながりを持たせる啓発などにはできないのかと思います。また、小学校では、新型コロナウイルスの影響でフッ化物塗布が休止しているので、この状況が今後はどう影響するのか心配しています。</p> <p>B 点検・評価表においても思春期保健対策の充実の実績が示されておらず、市の取組みが見えにくいです。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。  
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策 1 - (2) : 子どもの最善の利益の確保

基本的な考え方	虐待、貧困など社会的な支援の必要性が高い子どもを含め、一人一人の子どもの健やかな育ちが等しく保障され、子どもの人権が守られる、いわゆる「子どもの最善の利益」が実現される社会づくりが必要です。早期発見、対応ができる体制づくりに努めるとともに、子どもの貧困対策についても推進していきます。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 子どもの権利に関する啓発活動の充実	子どもの人権の尊重および確保のため、子どもの権利などについて、市のホームページの充実や講座・研修会などの他、様々な機会を通して、普及・啓発を行います。	人権啓発推進事業、他
(2) 子どもに関する相談機能の充実	子どもが相談しやすい環境を整え、学校や保護者・地域と連携した相談体制の強化に努めます。必要な人が必要な時に必要な支援を受けられるよう、様々な手段により市民への周知に努めます。	小中学校スクールカウンセリング等事業、他
(3) 児童虐待防止体制の充実	支援が必要な世帯の把握に努めるとともに、児童虐待を未然に防止するための啓発を積極的に行い、「子ども・愛（EYE）・みやざき」を合言葉に、児童虐待の早期発見、早期解決に努めます。	一時預かり事業費補助事業、他
(4) 子どもの貧困対策の推進	複合的な課題を抱える生活困窮世帯に対し、福祉・保健・教育の各分野が連携するとともに、現状や問題点などを分析し、総合的な子どもの貧困対策に向けた検討を行います。	学習支援ボランティア事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績							目標
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①家庭児童相談対応延べ件数	6,648件	6,410件	5,934件	6,887件	9,181件	9,546件	9,641件	7,000件
②養育支援訪問延べ件数	67件	23件	43件	59件	67件	78件	51件	80件
③子育て短期支援事業延べ利用日数	115日	121日	214日	158日	187日	213日	288日	353日

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策1－(2)：子どもの最善の利益の確保

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (0人)</p> <p>B (7人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (0人)</p> <p>B (7人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 主要な取組み(4)の「子どもの貧困対策の推進」については、総合的な子どもの貧困対策に向けた検討を行っていただき、これが地域でも検討されていくと良いと思います。</p> <p>B 主要な取組み(2)の「子どもに関する相談機能の充実」については、PTAと自治会等がもっと連携し、情報交換等することで、児童虐待などの子どもの問題に対応できるのではと考えています。</p> <p>また、子どもの問題については、問題が大きくなり、手に負えない状態になってから、自治会に相談が来ることがあります。小さな芽が出ている状態で、早めに情報共有してほしいと思います。</p> <p>C 「子どもに関する相談機能の充実」における学校や保護者・地域と連携した相談体制の強化については、NPO法人等も加えていただきたいと思います。健診ができなかったり、学校が休業になったりして情報がつながらない状況になった場合、チャイルドラインなどから情報を拾うことができると思います。そういった民間組織も視野に入れて、連携を図れると良いのではと思います。</p> <p>C 「子どもに関する相談機能の充実」については、相談を受ける技術の向上のための研修が必要だと思います。相談対応の技術を継続、アップデートしていくには学び続ける工夫も必要で、そういった研修についても、市民の目に見える形で取り組んでほしいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策 1 – (3) : 障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実

基本的な考え方	子ども一人一人が特性に応じた適切な支援を受けられるよう、障がいの早期発見、早期支援や保護者への正しい知識の啓発に努めるとともに、福祉・保健・医療分野の連携により、継続的に子どもの発達に応じた支援ができる体制の充実に努めます。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 疾病および事故の予防、早期発見並びに治療の推進	不安を抱える保護者が相談しやすい環境を整えることで早期発見・早期支援に努めます。地域住民の障がいに対する理解を促し、日常の中で見守りが図られる関係づくりを支援します。	幼児集団健康診査事業、他
(2) 専門的な医療や療育の提供	宮崎市総合発達支援センターの機能充実、関係機関との連携強化を図り、早期療育体制の充実に努めます。子ども一人一人の育ちを支援し、発達が気になる子どもにも適切な療育ができるよう努めます。	宮崎市総合発達支援センター指定管理料
(3) 一人一人のニーズに対応した教育の提供	支援体制の強化や教育相談センターの相談機能の充実を図り、障がいのある児童の教育の充実に努めます。特別支援教育に関わる教職員などの資質の向上に努めます。	特別障がい者手当等給付事業（特別児童扶養手当）、他
(4) 多機関連携による教育支援体制の整備	すべての子どもが必要な支援や教育を受けられるよう、特別支援教育連絡会や宮崎市自立支援協議会などの開催を支援し、福祉・保健・医療・教育の各分野が連携できる体制の構築に努めます。	自立支援協議会活動推進事業

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)							(中間年度)							(最終年度)
	実績								目標						
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)							
①乳幼児発達相談延べ人数	314人	303人	274人	256人	246人	274人	257人	290人							
②宮崎市総合発達支援センター利用者数	37,147人	41,923人	43,476人	40,652人	39,985人	37,781人	36,718人	49,900人							
③スクールサポーター派遣数	46人	46人	50人	52人	57人	61人	65人	56人							

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 **計画推進部会 推進施策の点検・評価** のまとめ＞

**推進施策1－(3)：障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (0人)</p> <p>B (6人)</p> <p>C (3人)</p> <p>D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (0人)</p> <p>B (6人)</p> <p>C (3人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 総合発達支援センターへの相談自体が、勇気のいることだと思います。相談から予約までの期間圧縮を目指し、医師以外での対応は考えられないのでしょうか。他の施策に影響が出ない内に対応をご検討いただきたいと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 総合発達支援センター利用者数の目標と実績の乖離について、主たる要因は医師不足と説明を受けましたが、体制が整わなければ、目標設定に意味がなくなるので、早急な体制の整備を求めます。</p> <p>B スクールサポーターには、支援とともに、子どもたちを多面的に見る視点を持って動いていただいております。学校の中で重要な役割を担っていると考えています。今後のプランにおいても、引き続き配置を増やしていく方向で計画を立てていただきたいと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 診断は受けていないけれども、集団での適応が難しい、いわゆるグレーゾーンの児童に対して、専門性の高い支援、相談が足りてないと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策1 - (4) : 安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備

基本的な考え方	子どもの遊びをめぐる現状を踏まえ、子どもの心身の健やかな発達を守るため、安全・安心で魅力ある遊び場の確保や遊びの活動拠点となる施設などの充実・改善を図るとともに、地域と行政が一体となって子どもの健全育成を推進できる体制づくりを進めていきます。
---------	---

## 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 子どもの遊び場の確保	心身ともに豊かな人間形成を育むために、公園の整備や遊具などの維持管理を行い、子どもたちが安全で快適に遊べる環境づくりに努め、子どもの屋外での体験活動を支援します。	公園の維持管理、他
(2) 児童館・児童センターなどにおける児童健全育成の充実	子ども同士の触れ合い事業や世代間交流などの充実に努めます。地域が一体となって子どもの健全育成を推進できる環境づくりを促進します。	ハロー・キッズ・ルーム運営事業、他

## 2 施策の成果指標に係る実績

(基準年度)

(中間年度)

(最終年度)

成果指標	実績							目標
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①児童プール延べ利用者数	23,384人	17,811人	21,341人	21,922人	20,582人	18,155人	15,773人	23,700人
②児童館・児童センター延べ利用者数	301,746人	313,615人	340,126人	335,707人	325,497人	319,836人	293,342人	336,100人

## 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である	( ) どちらかといえば順調である
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である	( ) どちらかといえば順調である
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。	( ) あまり順調でない	( ) 順調でない



＜評価表 計画推進部会 推進施策の点検・評価 のまとめ＞

推進施策1－（4）：安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備

評価の記載について：（ ）内は人数、  
 順調である＝A、どちらかといえば順調である＝B  
 あまり順調でない＝C、順調でない＝D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A（0人）                      B（7人）                      C（2人）                      D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A（0人）                      B（8人）                      C（1人）                      D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 利用者減については、子どもの数自体が減少していることもあるかもしれませんが、子ども同士で気軽に利用しにくい場所に施設があることなども要因と考えられます。ただ、施設の立地場所に関しては、簡単に変えることはできないので、難しい問題であるとも感じています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 保護者の就労状況や、学童、放課後デイの利用状況をもとに、適切な目標を立てていただければと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 児童館は建物の耐久性等から、建て直しや補強工事等が検討されています。立地条件やこども食堂の併設等、将来を見据えて抜本的に検討してはいかがでしょうか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 地域のちびっこ広場整備及び維持管理は強化していただきたいです。自力での整備・維持管理も考えましたが、調整区域などの理由でなかなか進めることができません。</p> <p>B 推進施策で「子どもの健全な発達のための良質な環境整備」としてしています。児童館・児童センターの利用者にはグレーゾーンの児童を含め、様々な特性を持ったお子さんがいると思いますが、そういったお子さんに対しては、預かる側の理解も大事になってくると思います。推進施策1－（3）と合わせて取り組んでいただきたいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。  
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策2 - (1) : 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援

基本的な考え方	保護者の育児不安の解消、虐待の未然防止、母親および乳児の健康の保持と増進を図るため、妊娠期からの早期支援につなげる体制を整え、保健事業の充実や保護者の気持ちに寄り添った相談・情報提供など、妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない子育て支援に取り組みます。
---------	---

## 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 妊娠・出産の支援	妊娠初期から妊婦健康診査の必要性などの保健指導や妊娠・出産に関する情報提供を行います。不妊治療費の助成を行うとともに、学校や医療機関などの関係機関と連携した相談体制の充実を図ります。	妊婦健康診査事業、他
(2) 育児への知識・技術の普及・啓発	男女を問わず育児の知識や技術を習得できるよう、医療機関、関係機関と連携し、出産準備教室や乳幼児健康相談を実施するとともに、保健師などによる訪問指導により、育児不安の軽減に努めます。	離乳食教室事業、他
(3) 保健・医療・福祉・教育などの連携強化	産前・産後からの切れ目のない支援を行うため、母子保健事業に関わる保健所や保健センター・医療機関・学校・児童福祉施設・民間団体などで意見交換や情報の共有化などを行い、連携強化を図ります。	母子保健相談支援事業、産婦健診事業、他
(4) 小児医療・周産期医療の体制整備	将来にわたって安心して出産・育児ができるように環境の整備・充実を図ります。夜間対応の小児救急医療の円滑な連携体制を構築し、周産期医療については、医療提供体制や産後ケアの強化を図ります。	宮崎市夜間急病センター小児科管理運営事業

## 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績							目標	
	(基準年度)	(25年度)	(26年度)	(27年度)	(28年度)	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(最終年度)
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①妊婦健康診査受診率（1回目）		98.0%	99.1%	97.5%	98.7%	98.7%	99.1%	98.2%	100.0%
②合計特殊出生率		★1.57 (H24数値)	★1.57 (H25数値)	★1.59 (H26数値)	★1.61 (H27数値)	★1.63% (H28数値)	★1.63% (H29数値)	★1.65% (H30数値)	1.63%
③10歳代の11週以前の妊娠届率 <small>※11週以前の妊娠届：妊婦の健康管理の充実を図るため14回の妊婦健康診査を受診するには「妊娠11週以前での妊娠届出」が必要</small>		70.7%	70.1%	69.5%	66.0%	70.3%	78.3%	76.8%	90.7%
④妊娠中の妊婦の喫煙率		10.7%	3.4%	3.0%	3.1%	2.9%	2.5%	3.1%	0.0%
⑤妊娠中の妊婦の飲酒率		10.9%	0.6%	0.5%	0.2%	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%
⑥不妊に悩む方への特定治療費助成件数		406件	405件	438件	385件	333件	386件	427件	390件
⑦人工死産率		★2.14% (H23数値)	★2.12% (H24数値)	★2.23% (H25数値)	★1.64% (H26数値)	★1.68% (H27数値)	★1.43% (H28数値)	★1.46% (H29数値)	1.26%

★合計特殊出生率は1年遅れ、人口死産率は2年遅れでの公表。

## 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策2－(1)：妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】                      A (2人)                      B (7人)                      C (0人)                      D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】                      A (2人)                      B (7人)                      C (0人)                      D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 合計特殊出生率が全国平均よりも高い宮崎市の場合、東京と同じ施策で見えてはいけないと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 主要な取り組みと成果指標に乖離があるように思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 若い人たちの結婚支援も含め、生まれてくる子どもに対して援助方法を考えていかなければ、この先も出生数は減少するばかりだと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 男女問わず、育児の知識や技術習得のための教育・指導・情報提供を継続推進・強化していただくことで、育児不安の軽減、出生率の向上につなげていただければと思います。</p> <p>B 推進施策として「妊娠・出産期からの親子の切れ目のない支援」としてはいますが、親をしっかりと育てることも重要だと思います。例えば、学童期のケアがしっかりしていないと、発達障がいのお子さんと親はすごく苦労します。そして本人が苦労するだけでなく、今度は授業が成立しなかったり、外に出て行くと地域の問題になったりします。そういった意味で、ベースとなる親をしっかりと育てることも必要で、そのあたりをぜひ考えていただきたいと思います。</p> <p>B 主要な取り組み(3)の「保健・医療・福祉・教育などの連携強化」について、学校も連携の対象となっていますが、児童、保護者、学校がお互いに理解し合えない状態に陥った場合に孤立が生じてしまうので、そこをどう相談しやすい環境にするのか、親も学べる情報に行き着けるようになるのかという部分が非常に大事だと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策2 - (2) : 地域における子育て支援の推進

基本的な考え方	保護者が安心して子どもと向き合える環境を整え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、地域での子育て支援体制の充実や子育て家庭に必要な情報が得られる環境整備に努めます。
---------	---

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 育児に関する相談機能の充実	地域子育て支援センターにおいて育児に関する相談を受け付け、子育てへの不安や負担などの軽減を図ります。また、相談体制を充実させるため、職員の専門性の向上や保健所・保健センターなどの関係機関との連携強化を図ります。	母子訪問事業、他
(2) 発および子育てに関する情報提供の充実	子育てに必要な知識の普及・啓発 地域子育て支援センターで子育てなどに関する講座や講習を開催し、家庭における育児を支援します。子育てに関する情報を手軽に入手できるように、宮崎市子育てナビの活用等、情報提供の充実を図ります。	男女共同参画社会づくり意識啓発事業、他
(3) 地域で子育てを支援する体制づくり	子育て中の親子が、地域住民や他の子育て中の保護者と交流できるよう子育て支援活動を支援します。ファミリー・サポート・センター事業や一時預かり事業を充実させ、保護者の負担軽減に努めます。	ファミリー・サポート・センター管理運営事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度) (中間年度) (最終年度)							目標
	実績							
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①地域子育て支援センター延べ相談件数	7,816件	6,428件	6,248件	7,336件	8,927件	8,932件	7,437件	8,000件
②地域子育て支援センター延べ利用者数	125,199人	131,842人	137,372人	140,265人	138,559人	140,345人	121,416人	167,640人
③ファミリー・サポート・センター延べ活動件数	2,639件	2,634件	2,848件	2,656件	3,032件	2,691件	3,434件	2,839件

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の実績の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の実績の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策2－（2）：地域における子育て支援の推進

評価の記載について：（ ）内は人数、  
 順調である＝A、どちらかといえば順調である＝B  
 あまり順調でない＝C、順調でない＝D

評価	意見等
<p>【平成31年度】                      A（2人）                      B（7人）                      C（0人）                      D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】                      A（2人）                      B（6人）                      C（1人）                      D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A ファミリーサポートセンターをどのように利用すればよいのか分からないという声を聞いたことがありますが、実際にたくさんの方が利用していることが分かりました。あと、子育て支援センターの賑わいがあと少しということを感じました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育て中の親子には、地域にどのような（支援してくれる）人が住んでいるかも分からないと思います。こういった情報を何らかの形で届けることも必要だと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 地域における子育て支援の情報については、第一子妊娠の時に教えてほしい。</p> <p>B ファミリーサポートセンターに関して、サービスを利用するという事は、自分は子育てをうまくできていないという心理が働き、利用に抵抗を感じる保護者もいるようです。そういった方は相談自体をすることができないので、民生・児童委員の方などがプッシュ型で訪問し、サービスを使えることを案内すると良いと思います。</p> <p>C 推進施策2－（2）では、相談に関する事業がいくつかあるようですが、相談件数の増減ではなく、相談の内容、質的な変化を追えるようなデータをまとめていただけると良いと思いました。そうすることで、これから先、こういった施策を重点化していくのかという方向性が見えてくると思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

### 推進施策3 – (1) : ワーク・ライフ・バランスの推進

基本的な考え方	子育て中の保護者が性別を問わず子育てに向き合えるように、社会全体でワーク・ライフ・バランスの啓発に取り組むとともに、共働き家庭などの就労を支援するために多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実に取り組みます。
---------	--

#### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	関係機関と連携し、仕事と生活の両立のための育児・介護休業に関する支援制度や次世代育成支援対策推進法の周知を図り、市民へのワーク・ライフ・バランスの普及・啓発に努めます。	地域子育て支援センターの事業（イクメン講座の実施）、他
多様な保育ニーズに対応した保育サービスの提供	保護者の多様な就労形態に応じた延長保育や休日保育などの特別保育の実施を促進し、保育サービスの充実と向上を図ります。病児保育施設の拡充に努め、保護者が安心して仕事ができる環境づくりに努めます。	公立保育所運営費、他
育児休業からの復帰の支援	育児休業中の保護者が希望した時期に復帰できるよう、入所に関する情報発信、窓口相談体制を強化し、安心して育児休業が取得できる環境整備に努めます。	就職マッチング推進事業、他
小学校の放課後などの居場所づくり	放課後児童クラブの定員拡大などの環境整備を行い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業日に児童が安全で安心して過ごせる場を確保し、児童の健全育成を図ります。	児童クラブ運営事業、他

#### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績							目標
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①延長保育の利用者数	3,505人	2,824人	2,408人	2,312人	2,317人	2,532人	2,299人	2,436人
②病児・病後児保育の利用者数	3,615人	3,350人	3,462人	3,417人	3,491人	3,177人	3,420人	3,954人
③児童クラブの利用者数	2,498人	2,869人	3,139人	3,319人	3,493人	3,642人	4,134人	4,028人

#### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策3-(1):ワーク・ライフ・バランスの推進

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (4人)</p> <p>B (3人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (3人)</p> <p>B (4人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 児童クラブ運営に係る待機児童解消に向けた努力がなされていると思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B ワーキングママへの短時間勤務制度をもっと広めてほしいと思います。</p> <p>C 点検・評価表に掲載されている事業を見ても、ほとんどが「ワーク」を支える施策となっています。保護者がどんどん働きやすくなる施策を進めている印象を受けるが、逆に子どもと一緒に生活をじっくり味わうような部分についても考える必要があると思います。また、「バランス」の意味を問い直す必要もあると思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

### 推進施策3 – (2) : ひとり親家庭の自立支援

基本的な考え方	ひとり親家庭の母親等の抱える様々な相談に応じるとともに、関係機関との連携していきます。それぞれのひとり親家庭の置かれている状況に応じた子育て・生活支援や経済的自立に向けた就業支援に取り組みます。
---------	---

#### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 相談支援の充実	ひとり親家庭の抱える様々な問題の軽減を図るため、民生委員・児童委員、女性相談員、家庭児童相談員及び関係機関と連携を図り、相談者へ助言や情報提供を行い、自立に向けた支援に努めます。	家庭児童相談事業、他
(2) 生活支援の充実	ひとり親家庭の生活を安定させるため、保育所や児童クラブ及び公営住宅の入所に配慮するとともに、ひとり親家庭への助成制度や生活支援情報の周知に努めます。	ひとり親家庭等日常生活支援事業、他
(3) 就業支援の充実	自立支援員による就業相談や情報提供を行うとともに、ハローワークなどとの連携による支援を行います。就労につながる知識・技能を身につけるため、講習会の開催や資格取得ができるように支援を図ります。	母子家庭等自立支援給付金事業、他

#### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)		(中間年度)					(最終年度)	
	実績								目標
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)	
①自立支援延べ相談件数	5,876件	6,842件	6,423件	6,413件	7,433件	7,580件	6,858件	6,700件	
②資格取得者の就業率	85.0%	100.0%	100.0%	85.0%	88.2%	76.0%	68.8%	100.0%	

#### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		



推進施策3－(2)：ひとり親家庭の自立支援

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (7人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (7人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B ひとり親家庭の保護者が気軽に相談できる体制が整うと良いと思います。相談先を学校側から紹介できると良いと思うことがよくあります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 地域によっては、民生児童委員と協議する場を設けていますが、高齢者に関する相談が多く、ひとり親に関する相談はほとんどありません。</p> <p>ひとり親家庭の実態把握などについては、自治会は外と連携しなければ情報が入ってこない状況なので、地域自治区で連携を図り、自治会、社協等の情報共有により、地域の実態について共通認識を持つことが重要だと考えます。また、それに合わせて地域の連携とバックアップが肝心と思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 今後もひとり親の就労につながる講習会や、資格取得の支援などをお願いしたいです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C ひとり親家庭に対する支援の情報発信について工夫が必要と思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。  
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策4－(1)：教育・保育内容の質の向上

基本的な考え方	教育・保育に従事する者の資質や専門性の向上を図るとともに、幼稚園や保育所などへの適切な指導などを通じて質の高い教育・保育および子育て支援の提供を図ります。また、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況に関わらず教育・保育を提供することができる認定こども園の普及に努めます。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 幼稚園教諭および保育士の資質向上	関係機関との連携および協働による研修会の開催、情報交換などを行い、質の高い事業の提供に努めます。障がいのある子どもとその保護者支援を図るため、幼稚園教諭と保育士の専門性向上に努めます。	宮崎市保育団体補助事業、他
(2) 教育・保育などの適正な実施（施設監査など）	教育・保育施設や地域型保育事業の実施状況を確認するため、実地による施設監査などを定期的に行うとともに、必要に応じて助言・指導などを行い、教育・保育などの適切な実施を図ります。なお、市の認可施設だけではなく、認可外保育施設にも立入調査を行います。	認可外保育施設の指導監査、他
(3) 認定こども園の普及	幼稚園・保育所から認定こども園への移行ができるように相談体制を強化し、認定こども園の普及を図ります。幼稚園からの認定こども園へ移行する施設で3歳未満児の受け入れができるように支援を行います。	認定こども園整備交付金事業、他
(4) 保育士などの人材確保	関係機関と連携した就職説明会や体験研修などを実施し、保育士の人材確保に努めます。幼稚園教諭免許状と保育士資格の併有促進を図るため、資格取得のための支援を行います。	私立保育所運営費補助事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績							目標
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)
①認定こども園の設置数	10か所	12か所	22か所	37か所	51か所	58か所	66か所	45か所
②定期指導監査の実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③保育士などの就職説明会への参加者数	105人	96人	148人	84人	107人	117人	64人	150人

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

推進施策4－(1)：教育・保育内容の質の向上

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】                      A (2人)                      B (5人)                      C (2人)                      D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】                      A (2人)                      B (6人)                      C (1人)                      D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 指導監査等により、年々指摘や指導、助言の件数は減っているようですが、実際にどのような改善が図られたのかも示していただきたいと思いました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 幼稚園教諭、保育士の資質向上、専門性向上を図るには、研修会等は当然ですが、待遇面の改善も重要なファクターになると思います。</p> <p>B 市では、保育士の処遇や異動等についての情報を確認する場が多々あると思います。市が保育士の再就職支援などに取り組むのであれば、再就職状況や異動状況等の把握にも取り組んでほしいと思います。</p> <p>また、「教育・保育の質の向上」における施策を考えるにあたっては、職場環境が原因で働く保育士が減らないためには、どのような施策が必要かという視点でもご検討いただければと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 働く人のメンタルヘルスが、子どもの教育・保育の質の向上につながると思います。</p> <p>C 「教育・保育の質」という言葉については、言葉だけ見ると曖昧な感じがします。宮崎市における定義がしっかりしていると、これから先議論もしやすくなるのではないかと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。  
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

## 推進施策4 – (2) : 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進

基本的な考え方	小学校の教育活動への円滑な移行のため、子どもの発達や学びの連続性、小学校教育と就学前教育の違いについて関係職員の理解を深めるとともに、接続期のカリキュラムの工夫や職員の資質向上に取り組むなど、保幼小連携の推進を図ります。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 保幼小連携の推進	教育・保育施設の職員や小学校の教諭が保幼小連携について共通認識を図り、地域での保幼小連携を推進するよう、協議会を設置・開催し、保幼小連携に向けた情報交換や連携体制の構築を図ります。	ブックスタート事業、他
(2) 接続期におけるカリキュラムの充実	小学校入学時における幼児期の教育との接続を意識したスタートカリキュラムを推進します。教育・保育施設の児童が、小学校入学に向けたアプローチカリキュラムを実施できるように支援します。	家庭教育事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)							(最終年度)	
	実績							目標	
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)	31年度 (R1年度)	
①スタートカリキュラムを実施する小学校数	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
②アプローチカリキュラムを実施する施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.8%	87.7%	100.0%	100.0%	
③小学校との連携体制が図れた施設 (H29新規)					37.2%	64.7%	73.8%	100.0%	
④小学校行事等への参加等が定着した施設数 (H29新規)					37.2%	67.4%	73.8%	100.0%	

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

平成31年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
第一期支援プラン期間の施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 計画推進部会 推進施策の点検・評価 のまとめ＞

推進施策4－(2)：認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進

評価の記載について： ( )内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】                      A (2人)                      B (6人)                      C (1人)                      D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】                      A (2人)                      B (5人)                      C (2人)                      D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 保幼小連携の会が各校で実施され、具体的な意見交換がなされることで、より実行性のあるカリキュラムになると思います。その流れはできてきていると思います。</p> <p>B 幼保小連携で小学校に上がったときに苦労されるお子さんについては、けっこうな確率で発達障がい絡んでいきます。そういったところで、発達障がいの二次障害を予防するような手立てとして、学校で少しずつ流行り始めているのがPBS (Positive Behavior Support : ポジティブ行動支援) という支援の枠組みで、これをスクールワイドでやってみようというところもあるようです。今、取組みとしても盛り上がってきているようなので、市としても取り組めると良いなと考えます。</p> <p>B 小学校教育の1年目で何かしら大きな課題や負担が生じていることを背景に、この推進施策がスタートしているのではないかと思うので、連携の推進で最もフォーカスされるべきところは、年長や小学校1年生の部分だと感じています。各幼稚園、保育所、認定こども園の教育保育の方針、その子の個性を含め、園でどのように育てきたという情報が、4月以降に小学校の1年生の先生方にしっかり伝わるような仕組みがあると、子を持つ親としては安心できるなと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> C 主要な取り組みに記載されている主な事業については、関連性を明確にする必要があると思いました。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。